

城西大学水田記念図書館 図書館・学長室学務課（研究支援）共催 研究倫理講演会（著作権も含めて）

「研究と論文と不正」

日時：2024年6月4日（火）17:35～19:20

会場：オンライン（Zoom）

講師：時実象一先生（東京大学大学院高等客員研究員）

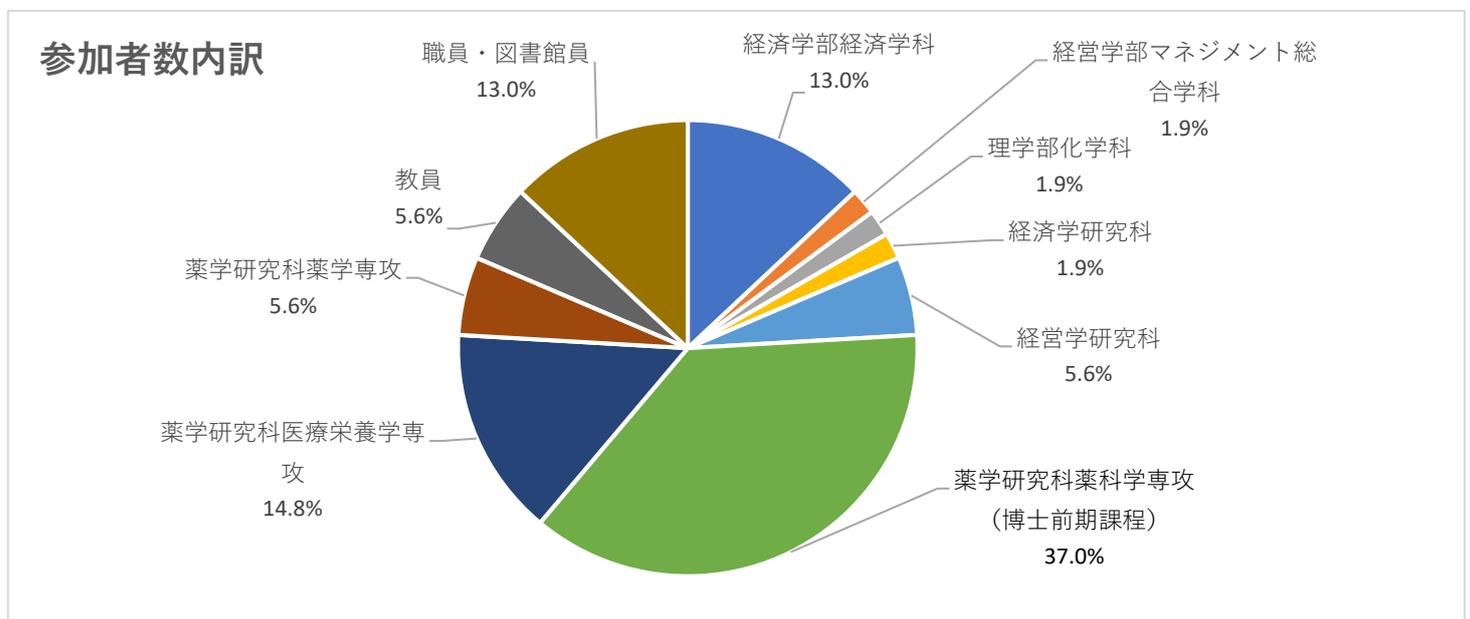
参加者数：54名 アンケート回答者：40名（回収率 = 74.1%）

大学院薬学研究科「論文作成法特論」授業との連携で実施

参加者数内訳

単位（人）

経済学部経済学科	7
経営学部マネジメント総合学科	1
理学部化学科	1
経済学研究科	1
経営学研究科	3
薬学研究科薬科学専攻（博士前期課程）	20
薬学研究科医療栄養学専攻	8
薬学研究科薬学専攻	3
教員	3
職員・図書館員	7
合計	54

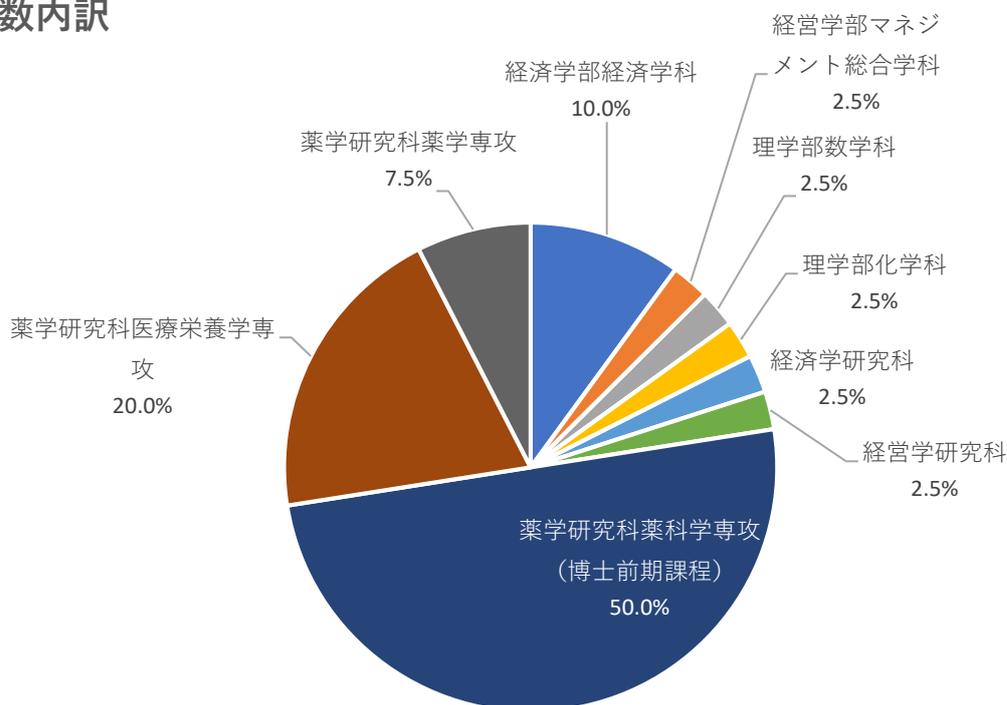


回答者数内訳

単位（人）

	1年	2年	3年	4年	研究生	教員	合計
経済学部経済学科	0	2	1	1	0	0	4
経営学部マネジメント総合学科	0	0	0	0	1	0	1
理学部数学科	0	0	0	0	0	1	1
理学部化学科	1	0	0	0	0	0	1
経済学研究科	0	1	0	0	0	0	1
経営学研究科	1	0	0	0	0	0	1
薬学研究科薬科学専攻（博士前期課程）	20	0	0	0	0	0	20
薬学研究科医療栄養学専攻	8	0	0	0	0	0	8
薬学研究科薬学専攻	3	0	0	0	0	0	3
合計	33	3	1	1	1	1	40

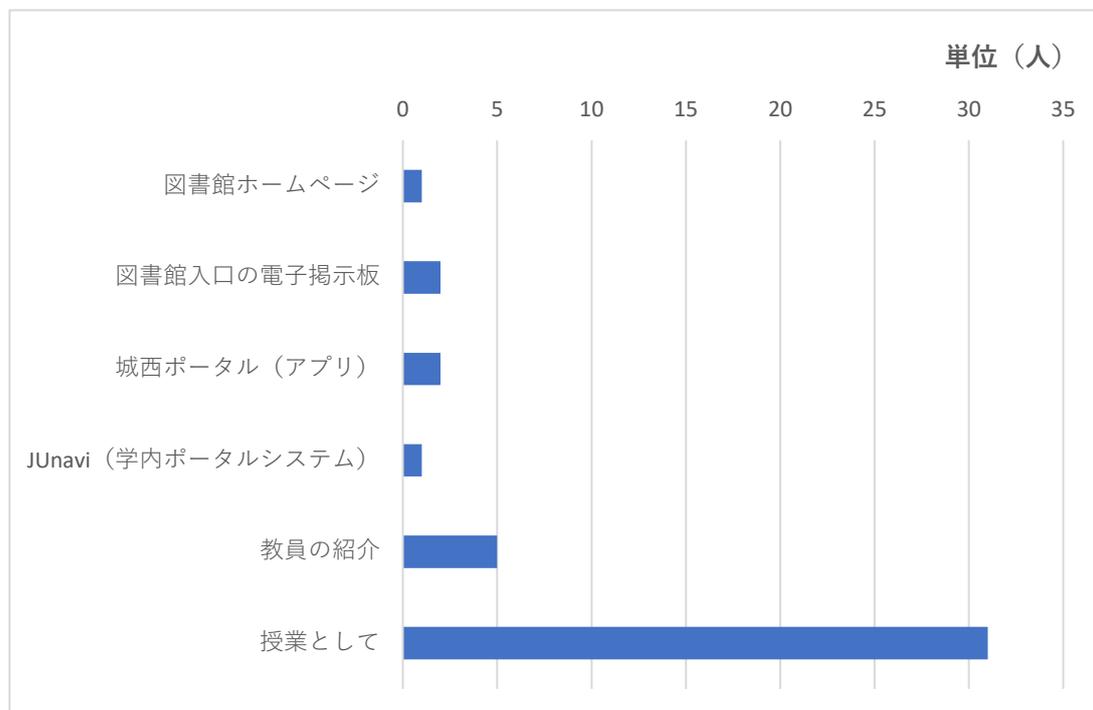
回答者数内訳



1) 今回の講演会を何で知りましたか？（複数回答可）

単位（人）

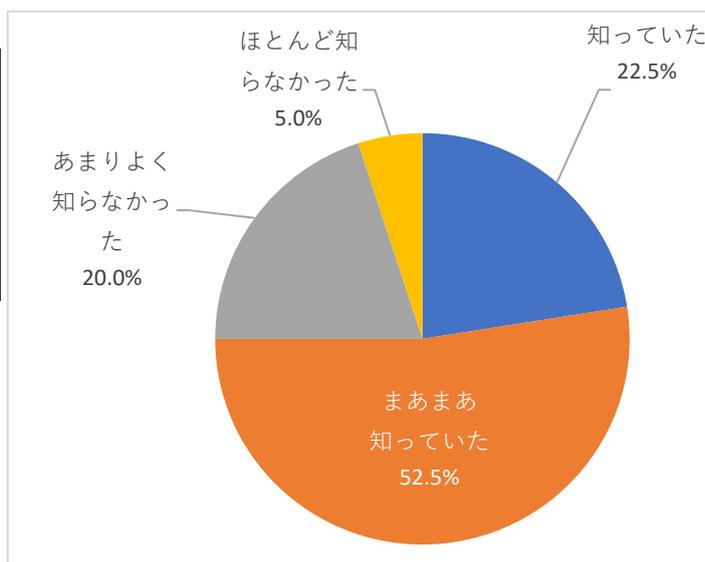
図書館ホームページ	1
図書館入口の電子掲示板	2
城西ポータル（アプリ）	2
JUnavi（学内ポータルシステム）	1
教員の紹介	5
授業として	31



2) 今回の講演を聴く前に、研究倫理・著作権・剽窃についてどの程度知っていましたか？

単位（人）

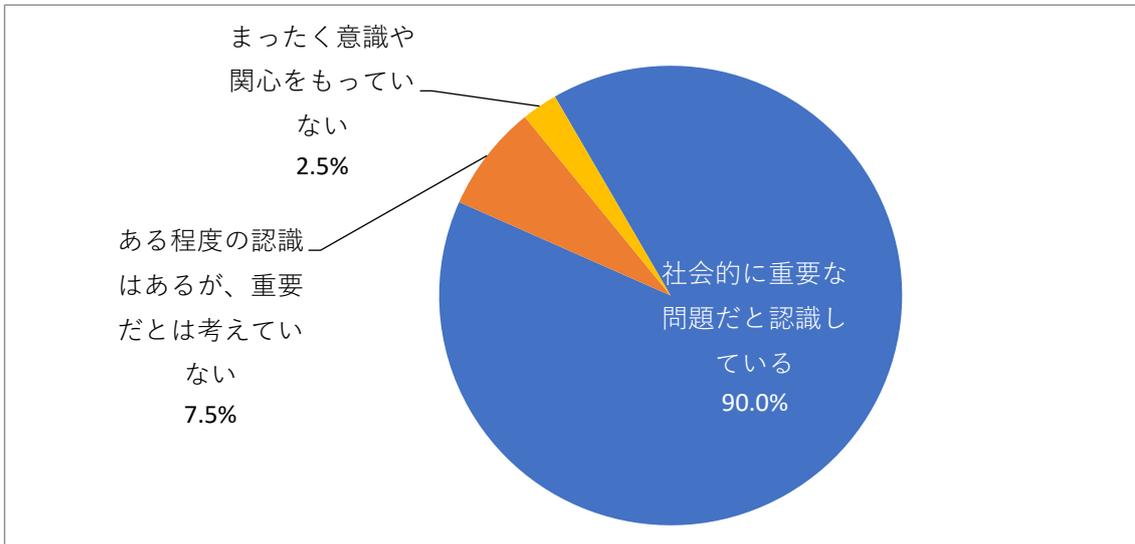
知っていた	9
まあまあ知っていた	21
あまりよく知らなかった	8
ほとんど知らなかった	2
合計	40



3) 論文執筆に係わる剽窃等が社会的な問題となっていることについて、どのような意識を持っていますか？ 最も近いと思うものをひとつ選んでください

単位 (人)

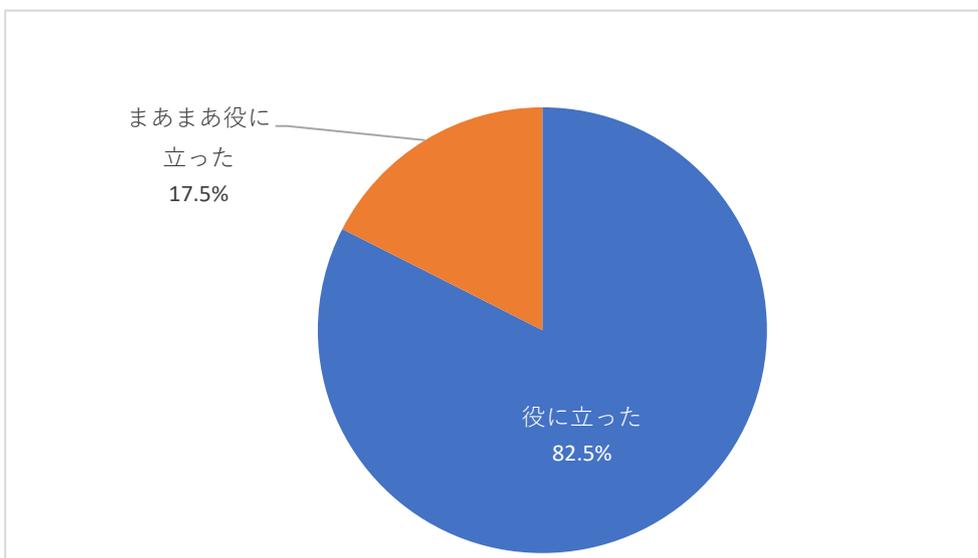
社会的に重要な問題だと認識している	36
ある程度の認識はあるが、重要だとは考えていない	3
自分とはあまり関係のないことだ	0
まったく意識や関心をもっていない	1
合計	40



4) 今回の講演会は役に立ちましたか？

単位 (人)

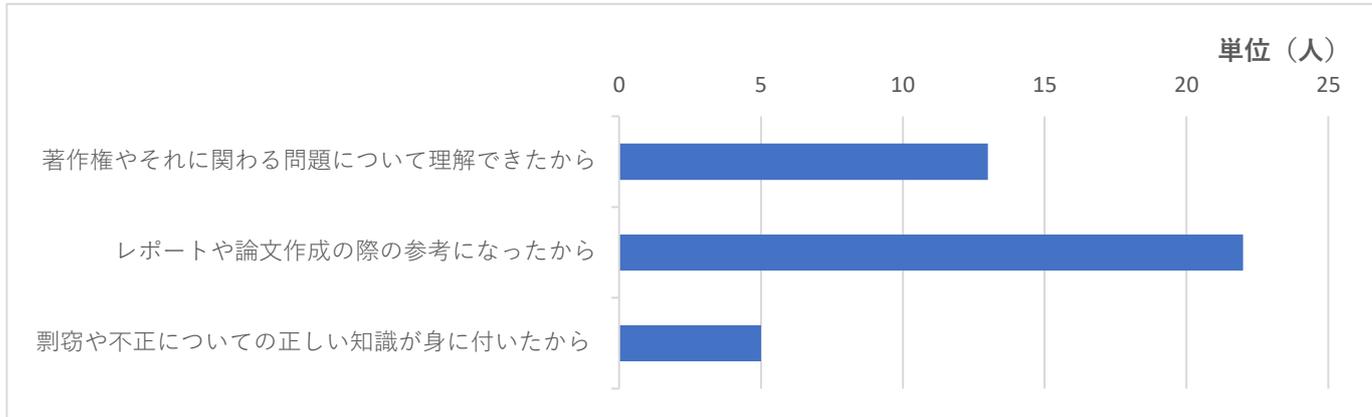
役に立った	33
まあまあ役に立った	7
あまり役に立たなかった	0
役に立たなかった	0
合計	40



4)-1 「役に立った」「まあまあ役に立った」を選んだ理由は何ですか？（複数回答可）

単位（人）

著作権やそれに関わる問題について理解できたから	13
レポートや論文作成の際の参考になったから	22
剽窃や不正についての正しい知識が身に付いたから	5



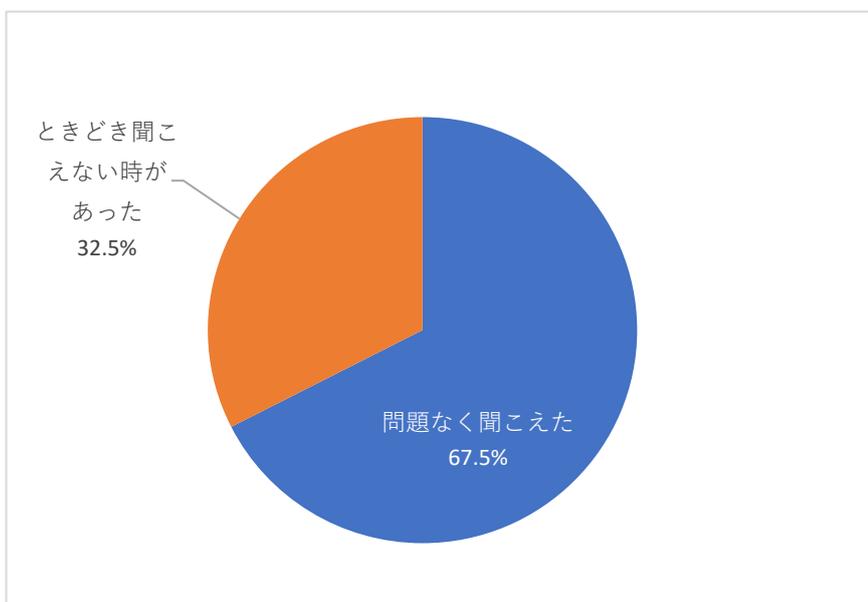
4)-2 「あまり役に立たなかった」「役に立たなかった」を選んだ方は、理由があればお書きください

回答なし

5) オンラインでの音声は聞き取りやすかったですか？

単位（人）

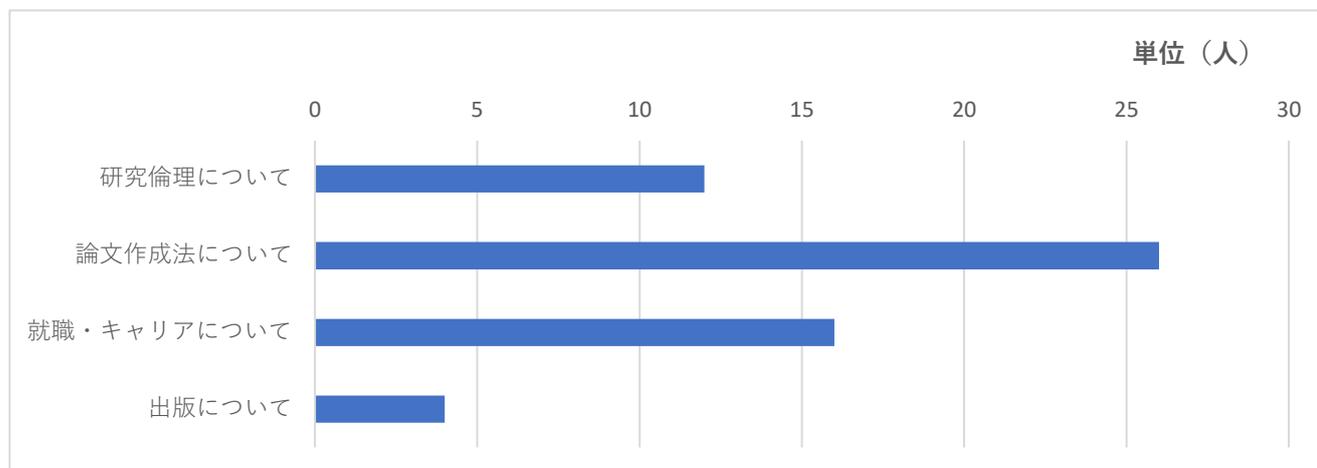
問題なく聞こえた	27
ときどき聞こえない時があった	13
頻繁に聞き取れない時があった	0
まったく聞き取れなかった	0
合計	40



6) 今後、図書館のどのような講演会・講習会に参加してみたいですか？（複数回答可）

単位（人）

研究倫理について	12
論文作成法について	26
就職・キャリアについて	16
出版について	4



7) 今回の講演に関して、ご意見・ご感想をお書きください

ありがとうございました。
タイムリーな問題である生成AIに関する話題もあり貴重なお話をお聞きすることができました。ありがとうございました。
まだまだ、話し足りなそうに感じたため、もっと長く時間を設けるべきだと思いました。
もともと知的財産に関心があったため、講義内容は非常に興味深く感じました。特に、ChatGPTなどのAI技術に関連する話題は身近に感じられ、講義に引き込まれました。また、4年生の卒業研究に向けて「円グラフを使わない」や「写真の明るさなどの加工はNG」など、直接的に参考になる話題もありました。
わかりやすい説明だったため、とても参考になりました。
悪気が無かったとしても、決まりがあることで秩序が保たれていることだと思うので、今後の論文では遵守していきたいです。
研究活動における不正を実例を交えて紹介していただき、とても分かりやすかった。 また、自分が不正にかかわることが無いよう気を付けていきたいと感じた。
写真のデータを扱うことがあるので加工のし過ぎには気をつけようと思った。
生成AIに関する事情、引用に関するルール、JURAのことを知ることができました。
著作権について自分の認識の甘さに強い危機感を感じた。
東京大学の方のお話を聞ける機会はあまりないので、貴重なお話を聞いてよかったです！
普通に過ごしていたらあまり知らないことを詳しく正しい知識を身につけることが出来て良かった。
分かりやすく、大変ためになるお話を有り難うございました。
論文を書く際の注意事項や気をつけることを学べたので意識して書きたいと感じた。
質問の時間があまりなかったため、こちらに記載します。
質問1：ハゲタカ雑誌を見分けるものとして何か必要な因子がありますか？
質問2：また、最近査読付きの論文の挿絵にAIが作成したものが載っていたそうですが、この時の査読は如何ほどの価値を意味を持ちますか？
講師 時実象一先生より
1. これらは皆査読のない雑誌です。査読のない雑誌でまともなのはPLOS系雑誌、主要出版社のオープンアクセス雑誌、MDPIなどです。それ以外のオープンアクセス雑誌には近づかないのが原則です。
2. 問題の図は明らかに科学的に不正確なものでした。この程度のものは査読者が判別できないとおかしいですし、査読者のレベルが問われます。ただし、今後はもっと正確なものが出現すると思われるので、その場合、査読者は本文と図をよく突き合わせて判断するしかありません。